

# 令和4年度 加賀市当初予算概要

～ 再び挑戦のまちへ ～

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 694 億 2,100 万円 (前年比 +10 億 6,430 万円 +1.6%)

2 一般会計予算 346 億 2,400 万円 (前年比 +1 億 3,500 万円 +0.4%) <地方財政計画の伸び率 +0.9%>

※参考 借換債を除く場合 327 億 458 万円 (前年比 Δ5 億 1,360 万円 Δ1.5%)

令和4年度は、成長戦略の柱である「人材の育成」と「先端技術の導入」を加速させ、スマートシティの実現に向け「未来型・先端的都市づくり」を推進します。

主な歳入	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	88 億 20 万円	(+ 14.6%)	市民税の増加、固定資産税の減免 (R3 国の施策) 終了による増加
② 地方譲与税 及び交付金	23 億 219 万円	(Δ 20.8%)	固定資産税の減免 (R3 国の施策) に対する地方税減収補填特別交付金の皆減
③ 地方交付税	82 億 9,700 万円	(+ 11.5%)	国の地方財政計画の見込みに基づく増加
④ 国庫支出金	56 億 1,307 万円	(+ 2.8%)	加賀温泉駅周辺施設整備事業費補助金の増加
⑤ 県支出金	20 億 2,599 万円	(+ 0.5%)	
⑥ 繰 入 金	14 億 8,636 万円	(Δ 21.2%)	財政調整基金繰入金の減少 (うち、財政調整基金の取り崩し 6 億 5,000 万円 (Δ 23.1%))
⑦ 市 債	45 億 8,252 万円	(Δ17.0%)	臨時財政対策債、廃棄物処理施設整備事業債の減少 (うち、臨時財政対策債 4 億 2,800 万円 (Δ69.0%)) (うち、借換債 19 億 1,942 万円 (+51.0%))

## 主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	52億7,000万円	(+ 2.1%)	退職者増加による職員退職手当費の増加
② 扶助費	67億7,619万円	(+ 1.3%)	心身障害者福祉費の増加
③ 公債費	53億6,650万円	(+ 6.2%)	借換債の増加
④ 物件費	51億6,550万円	(+ 3.4%)	行政デジタル化推進費、スマートシティ推進費の増加
⑤ 補助費	20億5,149万円	(+ 2.9%)	放課後児童クラブ助成費、私立保育園経営安定助成費の増加
⑥ 投資及び出資金	5億4,059万円	(△ 44.2%)	病院事業会計、下水道事業会計への出資金の減少
⑦ 投資的経費	43億8,430万円	(△ 5.1%)	加賀ごみ処理施設(焼却施設)・リサイクルプラザ基幹的設備改良工事費の皆減

## 3 特別会計予算(5会計) 162億9,850万円 (前年比 +3,340万円 +0.2%)

### (1) 国民健康保険特別会計 73億6,700万円 (前年比 △9,150万円 △1.2%)

前年比で被保険者数の減少(R3 13,900人⇒R4 13,270人 △630人)が見込まれることなどから、保険給付費の減少を見込む。

### (2) 後期高齢者医療特別会計 10億7,660万円 (前年比 +9,370万円 +9.5%)

前年比で被保険者数の増加(R3 11,900人⇒R4 12,400人 +500人)が見込まれることなどから、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

### (3) 介護保険特別会計 75億3,030万円 (前年比 +1,680万円 +0.2%)

前年度と同程度の要介護認定者(R3 2,816人⇒R4 2,820人)が見込まれることから、保険給付費は横ばいを見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1 億 3,120 万円 (前年比 +620 万円 +5.0%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 9,340 万円 (前年比 +820 万円 +4.4%)

「菊の湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

#### 4 企業会計予算 (3会計) 184 億 9,850 万円 (前年比 +8 億 9,590 万円 +5.1%)

(1) 病院事業会計 97 億 5,550 万円 (前年比 +2 億 6,790 万円 +2.8%)

新たに災害拠点病院の指定を申請し、市医療センターにおける安定した地域医療の確保を図るとともに、加賀看護学校の移転に向けた設計に着手する。

(2) 水道事業会計 42 億 2,600 万円 (前年比 +7,000 万円 +1.7%)

水道事業ビジョンに基づき、老朽化した水道管や水道施設の更新事業を行う。

(3) 下水道事業会計 45 億 1,700 万円 (前年比 +5 億 5,800 万円 +14.1%)

作見町における管渠整備事業や、分校・箱宮地区農業集落排水施設の公共下水道への接続事業を行うとともに、加賀市浄化センターと大聖寺川浄化センターの統合に向けた設計に着手する。